



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として、全国の大学、美術大学で日本画を学ぶ学生の展覧会を 2021 年より開催しています。

この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。

今回は、2021 年 2 月～5 月開催した 5 回の展覧会に続く第 6 弾として、2 月 5 日(土) から「金沢美術工芸大学日本画専攻 修了生 4 人展」を開催いたします。

■タイトル / 『対話～想いをうつす～』

～第 6 回大学日本画展 <金沢美術工芸大学日本画専攻 修了生 4 人展>～

■会 期 / 2022 年 2 月 5 日(土)～2 月 20 日(日) 11:00～19:00 (月曜定休)【入場無料】

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

- ・北川 由希恵（キタガワ ユキエ）/平成 26 年修了
- ・本田 貴哉（ホンダ タカヤ）/平成 31 年 修了
- ・乙部 亮（オトベ リョウ）/令和 2 年修了
- ・工藤 彩（クドウ アヤ）/令和 2 年修了

■主 催 / 金沢美術工芸大学 美術工芸学部

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険会社

■展覧会内容

同じ土地、同じ大学で日本画を学び、大学卒業後も作家として活動が続ける 4 人に通底するのは、制作をするうえで「写生を大切にすること」です。

4 人はそれぞれ現地で、現物に向き合い、「対話」することで得た学びを持ち帰り、それを自身の実感の伴った表現へと落とし込みます。

乙部は「広大な空間」を、北川は「植物」を、工藤は「珊瑚」を、本田は「普遍的な風景」をテーマとした作品を大作から小作品まで多数展示いたします。公募団体展に出品し、日々研鑽を積む若き 4 人の「対話」の末に生まれた作品群をご高覧頂けましたら幸いです。

【展示予定作品サイズ】

各作家 150 号程度の作品 2 点、他 80 号～40 号 約 15 点展示予定。

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00（担当 / 中島 内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

●作家プロフィール

乙部 亮 Otohe Ryo



神奈川県出身

2018 年 第 4 回石本正日本画大賞展 準大賞

2019 年 神山財団芸術支援プログラム 第 6 期奨学生

2019 年 改組新第 6 回日展 入選(同 20 年)

2021 年 金沢美術工芸大学大学院 絵画専攻日本画 修了
学長賞 修了制作大学買上

2021 年 第 77 回現代美術展 佳作

砂浜や空き地などの広大な風景を好んで題材としている。

写生において風景と、風景と対峙する自身の内面の観察を徹底して行うことで“人間として惹かれているもの”という普遍的な視点と、独自の視点を絵画に取り入れる術を模索している。



「遠い音」 1,807×2,305(mm) 和紙に岩絵具、墨、箔 2020 年

北川 由希恵 Kitagawa Yukie



石川県出身

2011 年 第 43 回日展 入選(同 12 年)

2014 年 金沢美術工芸大学大学院 絵画専攻日本画 修了

2014 年 第 60 回全関西展 入選

2015 年 改組新第 2 回日展 入選(同 18 年)

2016 年 第 1 回松柏日本画展 入賞

2016 年 第 71 回現代美術展 最高賞受賞

2017 年 第 1 回新日春展 入選(同 18 年、19 年、21 年)

2019 年 改組新第 6 回日展 特選(翌年無鑑査出品)

2021 年 第 77 回現代美術展 委嘱賞受賞

現在 日展会友 石川県美術文化協会会員

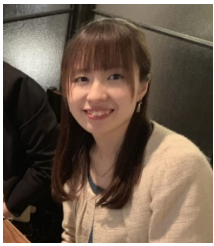
主に植物を題材とする。枯れゆくものと新しく生まれるものが共生した状態に惹かれる。

蘇鉄、棕櫚、松といった古くから生き続ける木たちの、時を刻んで行く姿を力強く表現している。



「時を刻む蘇鉄」 1,940×1,940(mm) 和紙に岩絵具、水干絵具、胡粉、墨 2019 年

工藤 彩 Kudo Aya



滋賀県出身

2019 年 学長賞 卒業制作大学買上

2019 年 神山財団芸術支援プログラム 第 6 期奨学生

2019 年 第 5 回石本正日本画大賞展 準大賞 第 1 席

2019 年 改組新第 6 回日展 特選

(同 18 年 初入選、20 年 無監査)

2019 年 KANABI クリエイティブ賞 2019

公募展コンクールの部 最優秀賞

2021 年 金沢美術工芸大学大学院 絵画専攻日本画 修了

2021 年 第 77 回現代美術展

金沢ライオンズクラブ賞(同 20 年 輪島市町賞)

現在 金沢美術工芸大学日本画専攻 助手、日展会友



「消像」 2,273×1,818(mm) 和紙に岩絵具、花胡粉、箔 2018 年

珊瑚を主題としている。生命の儚さを感じさせる海中の世界を、金属箔や岩絵具により作り出した重層的な画面で表現している。

本田 貴哉 Honda Takaya



新潟県出身

2016 年 再興第 101 回院展 入選(同 17～19 年、21 年)

2017 年 第 72 回春の院展 入選(同 18 年、21 年)

2018 年 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2018 年度奨学生

2019 年 金沢美術工芸大学大学院 絵画専攻日本画 修了

学長賞、招聘審査員特別賞 修了制作大学買上

2019 年 第 74 回新潟県美術展覧会 奨励賞

2019 年 第 19 回福知山市佐藤太清賞公募美術展

日本画の部 佐藤太清賞 受賞

現在 日本美術院 院友



「午後」 1,700×2,150(mm) 和紙に岩絵具、胡粉、墨、黒箔 2021 年

主に日常の風景を主題としている。

普遍的な景色の中に見るノスタルジーや、刹那的な表情、膨大な時間の蓄積などを、自身の実感の伴った表現で捉えることを目指している。